



とうい ただよし
東井 忠義 [市政新風会]



政治献金と政治倫理について

問 現在、国会議員の政治資金問題により政治不信を招いている。そこで、市長選挙のあった令和2年度の佐々木勝久後援会の収支報告書と佐々木市長の選挙運動費用収支報告書を県のホームページ等で拝見したところ、市と取引のある業者の代表者から高額寄附を受けている事実が判明した。公職選挙法では「当該地方公共団体と、請負その他特別の利益を伴う契約の当事者である者は、当該選挙に関し、寄附をしてはならない。」と規定されているが、どのように認識されているか。

答 市長 寄附をいただいた方はいずれも個人であり、違法ではないと考えている。しかし、今後は市民の政治不

信を招くようなことがないように、選挙費用の寄附を受ける際には、寄附者の属性にも注意を払いたい。

問 規模の小さな親族会社等において、代表者個人の寄附だから問題ないと言えるか疑問である。公職にある者は、違法行為はもちろん、政治的、道義的批判を受けるなど、不正の疑惑を持たれるようなことは十分慎まなければならない。政治的、道義的責任を感じないのか。

答 市長 違法なことはしていないので、道義的責任は感じない。

意見 政治家は、違法でなければ何をしてもよいというわけではなく、政治倫理を遵守しなければならないということを十分認識しなければならない。明るい元気なまちをつくるためには、市長の政治倫理やリーダーシップが大変重要であることを強く申し上げたい。



つちだ ひかる
土田 光 [さばえ結の会]



鯖江市役所職員の労働環境について

問 職員数を他の市町村と比較した場合、どれくらいの開きがあるのか。

答 人口1,000人当たりの職員数で比較した場合、全国平均76.72人に対して鯖江市では54.02人と、県内自治体の中でも全国の類似団体の中でも少ない状況である。

問 職員の給料について、他の自治体と比較した場合の現状は。

答 令和5年4月においては県内9市の中で7番目の状況であったが、本年4月より新採用職員の給与額の格付を3号給アップし、県内他市町と比較しても遜色のない金額となっている。

意見 行政の職員数が少ないと、行政サービスの低下にもつながる。また、職員1人当たりの業務量も多くなり、大変負担がかかっている状況だと思うので、職員の数についてはなるべく早く是正し、現状の解消をお願いしたい。



たなか よしゆき
田中 良幸 [創造]



「五郎丸踏切」周辺の渋滞について

問 踏切が下りている間、周辺で起きている渋滞について、原因はどこにあるとみているのか。

答 踏切が県道交差点、鯖江駅に近いということが混雑の要因になっている。

問 渋滞による市民の損失時間はばかにならず、踏切から県道に車があふれることで、交差点での「ヒヤリ・ハット事案」が多発し、交通事故を誘発しかねない。遮断機が下りる時間についてどこまで把握しているのか。

答 敦賀方面の列車は、停車時間が遮断時間に加算されるので3分程度、上下線の列車が重なると4分から5分程度と認識している。

問 駅を通過する列車の場合は、踏切は1分20秒しか閉まらない。通過列車と駅に止まる列車を判別して遮断機が下りるタイミングを遅らせる「賢い踏切」を導入しているJRもある。市長は株式会社ハピラインふくいの取締役会のメンバーである。それを導入するという提案としては。

答 市長 「賢い踏切」の導入については、運行のシステム、車両、踏切、様々な改修が必要である。ハピラインに問い合わせたところ、現在導入は考えていないとの回答があった。莫大な費用がかかることをいきなり取締役会で提案するのは難しい。県内の沿線の自治体との連携を図りながら対応していく。また、「ヒヤリ・ハット事案」があることも認識しており、ハード面だけでなくソフト面でも、警察の皆さんや関係機関の皆さんと、安全安心を確保するための対策について協議していきたい。